

審査委員一覧



一橋大学
経済研究所教授
北村 行伸



滋賀大学
データサイエンス学部長
竹村 彰通



慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科教授
(独)統計センター特別参与
渡辺 美智子



(独)統計センター理事
井上 卓



文部科学省初等中等教育局視学官
長尾 篤志



和歌山県企画部長
高瀬 一郎

データ利活用コンペティション協賛企業(五十音順)

(株)エイチ・アイ・エス、(株)KADOKAWA、(株)紀陽銀行、(株)サイバーリンクス、SAS Institute Japan(株)、
日本電気(株)、パナソニック(株)、(株)ファミリーマート、楽天(株)、(株)ワイヤ・アンド・ワイヤレス



プログラム

- 13:00～ 主催者挨拶 仁坂吉伸(和歌山県知事)
13:05～ 来賓挨拶 千野雅人(総務省統計局長)
13:15～ 基調講演 堀田徹哉(SAS Institute Japan(株)代表取締役社長)
「データがつなげる社会」
—休憩10分—
14:10～ データ利活用コンペティション最終審査会
15:40～ データを利活用した公募型研究事業中間発表
水内俊雄(大阪市立大学都市研究プラザ教授)
—休憩15分—
16:10～ データ利活用コンペティション表彰式
17:00 閉 会

お問い合わせ先

和歌山県企画部企画政策局企画総務課
TEL.073-441-2334 FAX.073-422-1812
E-mail.e0201001@pref.wakayama.lg.jp

データ利活用 シンポジウム

平成30年2月10日(土)

13:00～17:00

和歌山県民文化会館小ホール

主催



和歌山県PRキャラクター
「きいちゃん」

開催の趣旨と目的

本シンポジウムは、県民のデータ利活用に関する意識の向上やデータ利活用の重要性・有用性を全国に発信することを目的として開催いたします。

来賓プロフィール

総務省統計局長 千野 雅人(ちの まさと)

東京大学理学部数学科卒業。昭和59年に総理府に入省。経済産業省や日本学術会議への出向を経て、平成16年以降、総務省統計局統計調査部経済統計課長、同国勢統計課長、統計企画管理官、独立行政法人統計センター理事、総務省統計局統計調査部長等を歴任。平成29年から現職。



和歌山県議会議長 尾崎 太郎(おざき たらう)

昭和40年和歌山市生まれ。学習院大学法学部卒業。自由民主党県議団所属。平成15年和歌山県議会議員に当選以来、4期連続当選。平成29年6月から和歌山県議会議長を務める。



講師プロフィール

SAS Institute Japan(株) 代表取締役社長兼 SAS Institute Inc. 副社長日本・韓国地域統括 堀田 徹哉(ほった てつや)

1963年生まれ、大阪市出身。米スタンフォード大学大学院経営工学修士課程、および建設管理工学修士課程修了(1995年)、京都大学工学部卒業(1987年)。国内事業会社、アクセンチュア(株)、(株)SAPジャパンを経て、2015年10月にSAS Institute Japan株式会社代表取締役社長に就任。2017年1月からはSAS Institute Inc.の副社長として日本・韓国地域も統括し、お客様のビジネス価値の最大化と、担当地域におけるビジネスの成長に尽力。



大阪市立大学都市研究プラザ教授 水内 俊雄(みずうち としお)

1956年和歌山市生まれ。京都大学文学部卒業。九州大学、富山大学を経て1995年より大阪市立大学で教鞭。地理学を専門とし、現在地域連携センター副所長をつとめている。大都市の地域課題分析を主に、新宮市の地域再生や和歌山市の地域史にも取り組んでいる。



データ利活用コンペティション最終審査会 発表者一覧

【高校生の部】観光客を誘客するための施策

学校名・チーム名	提案タイトル
 ① 香川県立観音寺第一高等学校 「じーにあす」	プロジェクト I for K ～イリコで料理,観光客をつる～
 ② 下関市立下関商業高等学校 「下関商業高等学校」	「道」でつなげる下関市の魅力 ～国道191号線のブランド化～
 ③ 山口県立周防大島高等学校 「山口県立周防大島高等学校普通科特別進学コースAチーム」	周防大島×外国人観光客 外国人観光客を呼び込んで周防大島を元気に!
 ④ 和歌山県立田辺高等学校 「To the Summit」	外国人にやさしい「まち」に! 「まち」を挙げての英会話スキルアップ講座
 ⑤ 和歌山県立日高高等学校中津分校 「日高中津分校ジビエプロジェクト」	高校生×ジビエ＝『地域活性化』

【大学生の部】人口減少問題を解決するための施策

学校名・チーム名	提案タイトル
 ⑥ 札幌大学 「おにぎり温めますか」	美唄市に若者を呼び込み、地域の活性化 滞在・交流人口の増大化を図る
 ⑦ 専修大学 「Senshu_Bayesians」	全国市町村データを活用した多変量解析と 先行事例モデル都市の分析・参照にもとづく 和歌山市の人口増加戦略に関する提案
 ⑧ 北海学園大学 「北海学園大学佐藤大輔研究室」	地域の総合力で町の賑わいをつくりだす ～地域資源の融合による価値創造を実現する場づくり～
 ⑨ 明治大学 「NEXTずんだ餅」	田辺市の農業活性化と 誇りの空洞化問題の解決策
 ⑩ 立教大学 「立教大学櫻本ゼミナール2年」	人口減少問題を解決するための施策 ～女性の子育てと労働の両立からみる～